地域で共に学び、共に生きる教育の充実をめざして

福島県立会津支援学校長　杉　山　裕　恵

本校は、会津地域における通学制の知的障がい教育特別支援学校として平成2年に開校し、創立29年目を迎えました。今年度は、小学部77名、中学部57名、高等部81名の計215名の児童生徒が学んでいます。

さらに、会津若松市内にある竹田綜合病院内に病弱教育の特別支援学校として会津支援学校竹田校が設置されており、今年度は、小学部3名、中学部6名の児童生徒が学んでいます。

本校の教育目標は、「げんきで明るく（健康）」、「みんなで仲よく（協力）」、「自分の力で（自立）」をキーワードに「豊かな心と健やかな体を養い、学びを生かしてたくましく生きる人間の育成を図る」となっており、今年度は、その具現化を図るため、以下の4つを学校経営方針としています。

1　生きる力を育むための授業の充実
2　一人一人の自立と社会参加を目指した進路指導
3　健康な身体づくりや安全教育の充実
4　地域全体の特別支援教育の充実

教職員が連携して、組織的に取り組むと共に、より高い倫理観をもって不祥事根絶にも取り組みます。

新学習指導要領の実施に向けて、「学びの連続性」を重視した対応や児童生徒の自立や社会参加に向けた教育の充実を追求していくと共に、各教科等の指導における「つながり」を重視すること、知的障がいの程度や学習状況に即した指導・キャリア教育・交流及び共同学習の充実など児童生徒一人一人の将来を見据えながら、校内外の研修を通して専門性の向上を図っていきます。

結びに、障がいのある子どもと保護者を支える地域の特別支援学校として、保護者の皆様や地域の方々の意見に謙虚に耳を傾け、子どもたちと真摯に向き合いながら、障がいのあるなしにかかわらず、子どもたちが地域で共に学び、共に生きる教育の充実を図ってまいりますので、今後とも御理解と御協力をお願い申し上げます。

平成30年4月